

政策シート 政策名 05 地域の文化遺産の保全・活用
予算費目名 01 博物館費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

- 資料の適切な管理・活用に努め、台帳のデジタル化を推進する。
- 地域の歴史や文化について調査研究を推進する。
- 展示・講座・体験学習等を開催し、博物館や分館等で学ぶ機会を提供する。
- 市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進する。
- 収蔵品や博物館活動を広く周知するため、デジタルを活用した情報発信に努める。
- 施設の魅力を高めるため、国指定史跡蜷塚遺跡整備基本設計を行うとともに、博物館リニューアル基本構想策定を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑫生産・消費					
-----	-------	--------	-----	--------	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	92,367	80,983	75,102	104,110	135,795	
決算	85,673	68,198	67,515	97,068		
人件費(報酬等)(A)	190	3,355	2,704	1,742	3,842	
人件費(人工分)(B)	87,000	86,200	86,200	82,600	82,600	
年間経費(予算又は決算+A+B)	172,863	157,753	156,419	181,410	222,237	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
博物館の年間利用者数	人	目標	141,000	141,000	141,000	141,000	141,000	141,000
		実績	107,253	75,782	84,577	86,707		
分館における展覧会開催数	回	目標	12	14	16			
		実績	14	16	18			
特別展及びテーマ展の平均満足度(10点満点)	点	目標				7.8	7.9	8.0
		実績			7.5	7.7		

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

- 資料の適切な管理・活用に努め、台帳のデジタル化を推進した。
- 地域の歴史や文化について調査研究を推進した。
- 展示・講座・体験学習等を開催し、博物館や分館等で学ぶ機会を提供した。
- 市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進した。
- 収蔵品や博物館活動を広く周知するため、デジタルを活用した情報発信に努めた。
- 国指定史跡蜷塚遺跡の整備基本計画を策定するとともに、博物館リニューアル基本構想策定の準備を進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
◆資料の適切な管理・活用に向けて、博物館本館収蔵品の状況把握作業を行った(2023年度まで継続)。	
◆地域の歴史文化の調査として、徳川家康にまつわる伝承の調査や、伊場遺跡出土品の整理等を行った。	
◆特別展「三方ヶ原の戦いと家康伝承」や体験学習事業「夏休み体験館」等の展示公開・教育普及事業を行った。	
◆市民や大学、各種団体と連携して博物館事業を実施するとともに、地域活動への協力を行った。	
◆刊行物の発行やSNS等での情報発信を行った。	
◆蜷塚遺跡の魅力を高めるため、有識者や市民等から意見を聞き取り、整備基本計画を策定した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	博物館運営事業	○	○		87,993	62,733	2.7			1.6	1,880
2	遺跡公園運営事業	○	○		39,952	31,132	1.1			0.4	
3	博物館展示会開催事業	○	○		11,292	2,539	1.1			0.3	213
4	学習会開催等連携事業	○	○		21,631	3,311	2.0			1.3	680
5	博物館資料調査収集活用事業	-	-		61,369	36,080	2.1			3.4	1,069
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					222,237	135,795	9.0			7.0	3,842

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 博物館運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、浜松地域の歴史と文化を紹介する博物館施設を管理し運営することにより、浜松市民の学習を支援する機能を維持する。これにより、新しい時代に向けた浜松市民の文化創造に寄与していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ				

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑧成長・雇用
事業とゴールの 関連性		・歴史学習を支援する機能を維持し、文化創造に寄与する。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	47,292	40,723	38,890	44,848	62,733	
	決算	44,301	36,119	37,229	49,218		
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,600	3,060	1,389	4,052	5,943	
	一般財源	40,701	33,059	35,840	45,166	56,790	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)	190	1,733	1,620	1,742	1,880	
	人件費(人工分)(B)	21,480	20,580	23,380	21,980	23,380	
人工	正規	2.4	2.3	2.7	2.5	2.7	
	再任用(31h)	0.6					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	1.6	1.6	1.6	1.6	
年間経費(予算又は決算+A+B)		65,971	58,432	62,229	72,940	87,993	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
博物館の年間観覧者数(人)		目標	71,000	71,000	71,000	50,000	50,000	50,000
		実績	59,788	42,140	51,073	54,406		
SNS更新回数(回)		目標				200		
		実績			215	147		
ミュージアムグッズ開発件数(件)		目標				3	3	3
		実績			5	1		
SNSのフォロワー数(人)		目標					2,200	2,400
		実績				1,936		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行った。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・2022年度に予定していた博物館リニューアル基本構想策定は、「浜松市博物館資料紛失再調査委員」の提言を反映するため、2023年度に延期した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・博物館では、機械室加圧給水ポンプ修繕工事、フロアー空調機修繕工事を実施
- ・水窪民俗資料館では、非常照明修繕工事を実施
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館では、換気扇修繕工事を実施
- これらの事業を執行したことにより、市民の歴史学習を支援する機能を維持できたものとする。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した施設運営
- ・改正博物館法が2023.4.1から施行 ※博物館登録制度の見直し等
- ・国の方針として、公共施設への民間活力導入推進が加速化している。(本市も同様の方向性)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

博物館においては、空調関係機器工事、分館では消防設備の修繕などにより施設機能が改善し、来館者の安全、施設の適切な管理が確保された。
博物館本館内の不要物品を廃棄し、館内環境の改善を図った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設の長寿命化と大規模改修を考えるとともに、来館者の安全と満足度が確保できる維持管理を目指していく。
- ・博物館リニューアルについては、課題をさらに洗い出し、基本構想の策定に反映させるよう協議・調整を継続していく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行う。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・博物館リニューアル基本構想の策定を進める。併せて、管理運営手法の更なる検討のためサウンディング型市場調査を実施し、民間活力導入の可能性を検討する。

事業シート (事業名) 02 遺跡公園運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、蜷塚(遺跡)公園を、隣接する博物館と一体的に管理し、伊場遺跡公園とともに学び憩える歴史公園としての機能を維持するとともに、蜷塚遺跡については、史跡の再整備を行う。これにより、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育			⑧成長・雇用	
⑪都市	⑫生産・消費						
事業とゴールの関連性		・歴史公園としての機能を維持し、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図る。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	24,446	20,422	17,072	20,620	31,132	
	決算	23,760	16,828	16,018	20,614		
	国・県支出		990	864	2,923	7,749	
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	23,760	15,838	15,154	17,691	23,383	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,440	10,920	10,920	8,820	8,820	
人工	正規	1.0	1.4	1.4	1.1	1.1	
	再任用(31h)	0.4					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.4	0.4	0.4	
年間経費(予算又は決算+A+B)		32,200	27,748	26,938	29,434	39,952	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
公園整備件数(件)		目標	6	6	6	6	6	6
		実績	6	6	6	4		
蜷塚遺跡再整備事業に関して市民や民間等に意見を聞き取る機会(件)		目標				3	3	3
		実績			4	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	05	01	000632000	02	文化財課(博物館)	平田 隆	2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行った。
- ・園路の補修工事、植栽の伐採剪定工事など、公園の整備を行った。
- ・史跡蜷塚遺跡整備基本計画を策定した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

○蜷塚公園・伊場遺跡公園維持管理事業

蜷塚公園・伊場遺跡公園における、樹木等の管理及び伊場遺跡公園巡回清掃を委託として実施した。

○遺跡公園整備事業

蜷塚公園整備・修繕として蜷塚公園内グレーチング修繕工事を、伊場遺跡公園整備・修繕として伊場遺跡公園カイゾカイブキ等剪定工事、伊場遺跡公園復元家屋囲い柵修繕工事を行った。以上により、浜松の歴史文化を学習でき、親しみのある両公園を維持できた。

○蜷塚遺跡再整備事業 蜷塚遺跡整備基本計画を策定した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

公園内の園路の補修や、高木の剪定、伐採等により、公園の外観の修復を図るとともに、利用者が公園を安全かつ快適に使用できるように努めた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も、貴重な歴史的文化遺産である蜷塚公園及び伊場遺跡公園について、修繕整備と維持管理に努めていく。蜷塚遺跡については、整備基本計画に基づき再整備基本設計に着手する。

また、ボランティアとの協働をはじめ、市民目線に立った公園づくり、魅力アップに努めていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行う。
- ・園路の補修工事や樹木剪定工事など、公園の整備を行う。
- ・蜷塚遺跡整備基本計画書の印刷を行う。
- ・国指定史跡蜷塚遺跡の整備基本設計に着手する。

事業シート (事業名) 03 博物館展示会開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、常設展や特別展・テーマ展などの展示会で浜松市民が地域の歴史文化遺産について実際に目に触れる機会を創出する。また、観光や学習等で浜松を訪れる人々にも、地域の個性ある歴史文化を紹介する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性				
	<ul style="list-style-type: none"> 市民へ生涯学習の機会を提供するとともに、学校教育との連携を深めていく。 市民が地域の環境について関心をもつ機会を創出する。 地域の歴史文化遺産を活用したまちづくりや地域振興を促進する。 			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,125	10,689	4,258	13,366	2,539	
	決算	9,662	8,378	2,428	13,366		
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,403	1,339	2,366	4,341	2,451	
	一般財源	7,259	7,039	62	9,025	88	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		644	192		213	
	人件費(人工分)(B)	15,840	14,440	12,340	9,520	8,540	
人工	正規	2.0	1.8	1.5	1.2	1.1	
	再任用(31h)	0.2	0.2	0.2			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	
年間経費(予算又は決算+A+B)		25,502	23,462	14,960	22,886	11,292	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
特別展及びテーマ展における来館者数(人)			目標	43,000	43,000	43,000	30,000	32,000	34,000
			実績	32,540	24,032	29,311	31,548		
特別展及びテーマ展の平均満足度(%)			目標	90	90	90			
			実績	90	89	94			
市民協働産学連携による展示会の開催(件)			目標	3	4	4			
			実績	4	4	6			
分館における企画展の開催(件)			目標	12	14	16	16	16	17
			実績	14	16	18	23		
常設展における資料の年度内更新数(回)			目標				4	4	4
			実績			2	5		

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

常設展・テーマ展開催事業

- ・常設展では、浜松市内の歴史文化について通史的に紹介した。
- ・常設展の内容の一部を深く掘り下げて紹介するテーマ展等を特別展示室で開催した。
- ・常設展やテーマ展を補完する小規模な展示を、展示ホール等にて開催した。

巡回展開催事業

- ・本館で実施したテーマ展について、分館での巡回展を開催した。
- ・各分館の所在する地域の特色に基づいた企画展を区役所や協働センターと連携しながら開催した。
- ・指定管理者による自主事業を開催した。

特別展開催事業

- ・三方ヶ原の戦いから450年を記念して特別展「三方ヶ原の戦いと家康伝承」を開催した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・常設展については、展示資料の一部変更を行ったほか、解説パネルやキャプションの修正を行った。
- ・特別展を1回、テーマ展等を4回開催した。また、学校教育と連携した「道具たちの百年」など小展示を開催した。
- ・分館では、本館開催のテーマ展等の巡回展により、本館から遠方にお住まいの方に観覧していただく機会を提供した。また地域の特色を活かした企画展を区・協働センター・指定管理者等と連携して実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染防止への取り組みの継続
- ・デジタル化への対応
- ・多言語化などユニバーサルデザインへの対応



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・常設展の更新は2021年度よりも進められたが、継続して実施していく必要がある。
- ・特別展では、三方ヶ原の戦いと浜松に残る徳川家康の伝承を広く紹介した。
- ・テーマ展や小展示については、時機に応じた内容で実施した。
- ・分館の展示については、区・協働センターや指定管理者、大学等との連携により実施した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・常設展の部分的な更新を計画的に行い、来館者の満足度を高めるとともに、多様な収蔵品を紹介する。
- ・テーマ展、小展示については、今後の博物館リニューアルにおける新たな常設展にも反映させることを目指す。
- ・分館の展示については、引き続き協働センターや指定管理者等と連携し、地域の特色を踏まえて実施していく。
- ・収蔵品の整理を優先するため、特別展は開催しない。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

常設展・テーマ展開催事業

- ・常設展では、浜松市内の歴史文化について展示内容を4件程度更新しながら、通史的に紹介する。
- ・テーマ展を2件特別展示室で開催する。
- ・小展示を、展示ホール等にて開催する。

巡回展開催事業

- ・各分館の所在する地域の特色に基づいた企画展を区役所や協働センターと連携しながら開催する。
- ・指定管理者による自主事業を開催する。
- ・大河ドラマの放送に合わせて、各分館の所在する地域の徳川家康ゆかりの地のパネル展を開催する。

事業シート (事業名) 04 学習会開催等連携事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、地域の歴史文化遺産を広く紹介し、市民の学習、研究の機会を広めるため、講座・講演会・学習会等を開催して、市民協働参画のもと世代を越えた文化の継承を目指す。また、未来を引き継ぐ子供には、土日や長期の休日に子供向けの講座・体験学習などの学習機会を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用
⑪都市 ⑫生産・消費			
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> 市民へ生涯学習の機会を提供するとともに、学校教育との連携を深めていく。 市民が地域の環境について関心をもつ機会を創出する。 市民や民間団体等と連携し、歴史文化遺産を活用したまちづくりや地域振興を促進する。 		

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,659	4,074	4,074	3,884	3,311	
	決算	3,971	2,472	2,560	3,884		
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,355	519	975	1,800	1,800	
	一般財源	2,616	1,953	1,585	2,084	1,511	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		357	740		680	
	人件費(人工分)(B)	24,180	23,900	23,900	19,460	17,640	
人工	正規	2.3	2.3	2.3	2.1	2.0	
	再任用(31h)	0.3	0.3	0.3			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	2.4	2.4	1.7	1.3	
年間経費(予算又は決算+A+B)		28,151	26,729	27,200	23,344	21,631	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新たな体験メニューの開発(件)		目標	3	3	3			
		実績	3	3	4			
博物館ボランティアの延べ活動人数 (人)		目標	1,000	1,000	1,000	600	500	500
		実績	633	430	442	356		
学校等への教材利用件数 (点)		目標	1,600	1,600	1,600			
		実績	1,155	1,454	1,642			
他団体との共催事業(件)		目標				5	5	5
		実績			5	5		
学校等への教材貸出件数 (件)		目標				100	100	100
		実績			99	94		

(管理番号)

2023年度

分野

06

基本政策

01

政策

05

予算費目

01

所属コード

000632000

事業

04

(担当課)

文化財課(博物館)

(責任者)

平田 隆

(基準日)

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会、イベント等を開催した。
- ・児童生徒を対象にした体験事業を開催した。
- ・上記事業の運営には博物館ボランティアが参画し、ボランティア養成のための講座も開催した。

おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校等への教材貸出を行った。
- ・市内の民間施設等での展示会(逸品まちかど陳列事業)は、1件実施した。
- ・出前講座を市民団体等の要望に応じて行った。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民や各種団体等との連携は多数実施しているが、事業共催の形を取るような一定規模のものは多くない。
- ・ボランティアについては、博物館全体の事業配分の見直しや新型コロナウイルスの影響で体験学習事業やガイドなど中止・縮小されたものが多いため、活動日数が限られた。
- ・学校教育との連携は計画どおり進んでいる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業実施

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

親子で参加しやすい体験型の催しや、成人向けの歴史講座等を開催して、市民に地域の歴史文化の魅力をわかりやすく周知するとともに、リピーターの増加を図った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・幅広い層が楽しみ、学ぶことのできる講座、体験学習等の事業を展開していく。
- ・市民や各種団体との連携を深めることで、各種事業に幅と厚みをもたせていく。
- ・ボランティアの活動の幅を広げ、さまざまな人材により事業を運営していく。
- ・学校教育との連携は充実しており、引き続き維持していく。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

講座・体験館等開催事業

- ・定期的講座を継続するほか、展示等にあわせて講演会、講座、見学会などを開催する。
- ・体験学習事業は、児童生徒の長期休暇期間を中心に開催し、ボランティア活動や市民協働により開催する。
- ・ボランティアの新規募集や養成講座を開催するほか、活動の幅を広げて、ボランティアの質や意欲を高める。

おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校等への教材貸出を引き続き行う。教員に向けて博物館活用のための研修を行う。
- ・市内の民間施設等での出張展示(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に周知して推進する。

事業シート (事業名) 05 博物館資料調査収集活用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松の歴史文化に関する資料を広く調査収集し保存することで後世に残していくとともに、これらの資料の存在を公開することにより、過去の浜松の人々の営みを市民に伝えていく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市		④教育							
事業とゴールの 関連性	・地域の歴史文化遺産の調査・収集・保存・活用により、地域の魅力を市民等へ伝えていく。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,845	5,075	10,808	21,392	36,080	
	決算	3,979	4,401	9,280	9,986		
	国・県支出				1,798		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	3,979	4,401	9,280	8,188	36,080	
人件費(報酬等)(A)			621	152		1,069	
人件費(人工分)(B)		17,060	16,360	15,660	22,820	24,220	
人工	正規	1.3	1.2	1.1	2.1	2.1	
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.5			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.2	2.2	2.2	2.9	3.4	
年間経費(予算又は決算+A+B)		21,039	21,382	25,092	32,806	61,369	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
新着資料の公開件数(件)	目標		10	10	10			
	実績		3	6	18			
収蔵資料台帳の整備件数(件)	目標		100,000	100,000	100,000			
	実績		81,560	82,737	85,555			
収蔵資料台帳の公開件数(件)	目標		12,000	12,000	12,000			
	実績		11,821	11,971	11,992			
新規受入資料(当該年度とその前年度)の 公開率(%)	目標				70	40	40	
	実績			31	26			
収蔵資料台帳のデジタル化件数(件) ※2025 年度100,000件目標	目標				87,500	90,000	95,000	
	実績			85,555	88,397			
学芸員が資料調査に出向いた件数(件)	目標				15	15	15	
	実績			24	27			

(管理番号)

2023年度

分野

06

基本政策

01

政策

05

予算費目

01

所属コード

000632000

事業

05

(担当課)

文化財課(博物館)

(責任者)

平田 隆

(基準日)

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

1. 資料調査収集事業

- ・考古、歴史、民俗等、価値ある歴史文化資料を購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管した。
- ・資料紛失事案の発生を踏まえ、博物館本館収蔵品の全点把握作業を開始した。
- ・新たな資料の情報に対応し、調査及びデータ収集を行った。
- ・文化財IPM(総合的有害生物管理)を推進し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めるとともに、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持した。
- ・伊場遺跡出土品の重要文化財指定に向けて資料の整理を行い、図録を刊行した。
- ・県指定文化財の銅鐸(三ヶ日町日比沢猪久保出土)の複製品を製作した。

2. 電子データ作成公開事業

- ・分館を含む博物館収蔵品におけるデジタル収蔵品台帳への登録及び情報の充実化を推進した。
- ・デジタル収蔵資料台帳の一部の情報について、画像データとともにインターネット上での収蔵資料公開システム「ある蔵」で公開した。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新規受入資料の一部について展示で公開活用した。
- ・収蔵資料デジタル台帳の整備と公開については、本館・分館の収蔵資料が膨大であり、推進方法の再検討が必要である。
- ・学芸員による資料調査は行われているが、調査研究体制の確立が必要である。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・デジタル化によるインターネット上での公開が進んでいるため、対応が必要である。

(1)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・収蔵資料デジタル台帳の整備の推進は急務であるが、予算的制約や人員不足により、少しずつしか進んでいない。
- ・収蔵庫内部の整理・整頓が不十分であり、本館収蔵品の全点把握作業を進める上で障害となっている。
- ・学芸員の調査研究体制が十分整っていない。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・収蔵資料デジタル台帳の整備や公開を推進するために、目標を定めた上で必要な予算と人員を投入する必要がある。
- ・学芸員の調査研究テーマを定め、講座や展示、刊行物にその成果を示すことのできる体制を構築する必要がある。
- ・定期的な収蔵施設の点検・清掃・整頓を長期的に取り組んでいく必要がある。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

1. 資料調査収集事業

- ・考古、歴史、民俗等、価値ある歴史文化資料を購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管する。
- ・資料紛失事案の発生を踏まえ、前年度に引き続き博物館本館収蔵品の全点把握作業を行う。
- ・新たな資料の情報に対応し、調査及びデータ収集を行う。
- ・文化財IPM(総合的有害生物管理)を推進し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めるとともに、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持する。
- ・伊場遺跡出土品の重要文化財指定に向けて、前年度に引き続き資料の整理を行う。
- ・各学芸員が調査研究目標を定め、その成果を展示、講座、刊行物等で市民に還元していく。

2. 電子データ作成公開事業

- ・分館を含む博物館収蔵品における、デジタル収蔵品台帳への登録及び情報の充実化を推進する。
- ・デジタル収蔵資料台帳の一部の情報について、画像データとともにインターネット上での収蔵資料公開システム「ある蔵」で公開する。